

行 財 政 ・ 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 等
危 機 管 理 対 策 特 別 委 員 会 資 料 1
令 和 2 年 (2 0 2 0 年) 8 月 4 日
健 康 医 療 福 祉 部

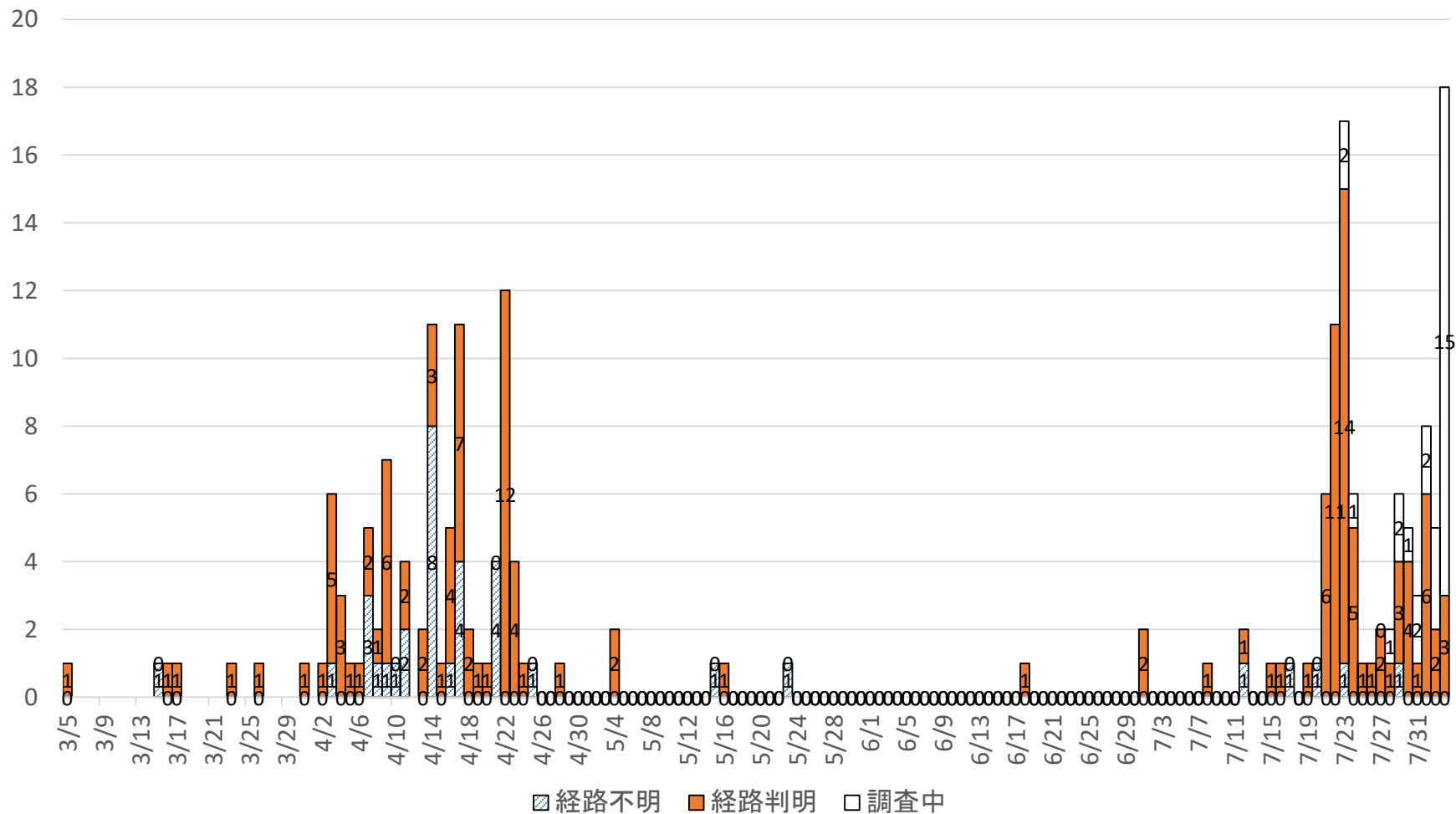
新型コロナウイルス感染症への対応について

県内の感染動向について	1
県内の感染状況について	3
入院医療体制について	5
資機材の確保・供給について	6
クラスターの発生状況に係る分析	7

県内の感染動向について（8/3現在）

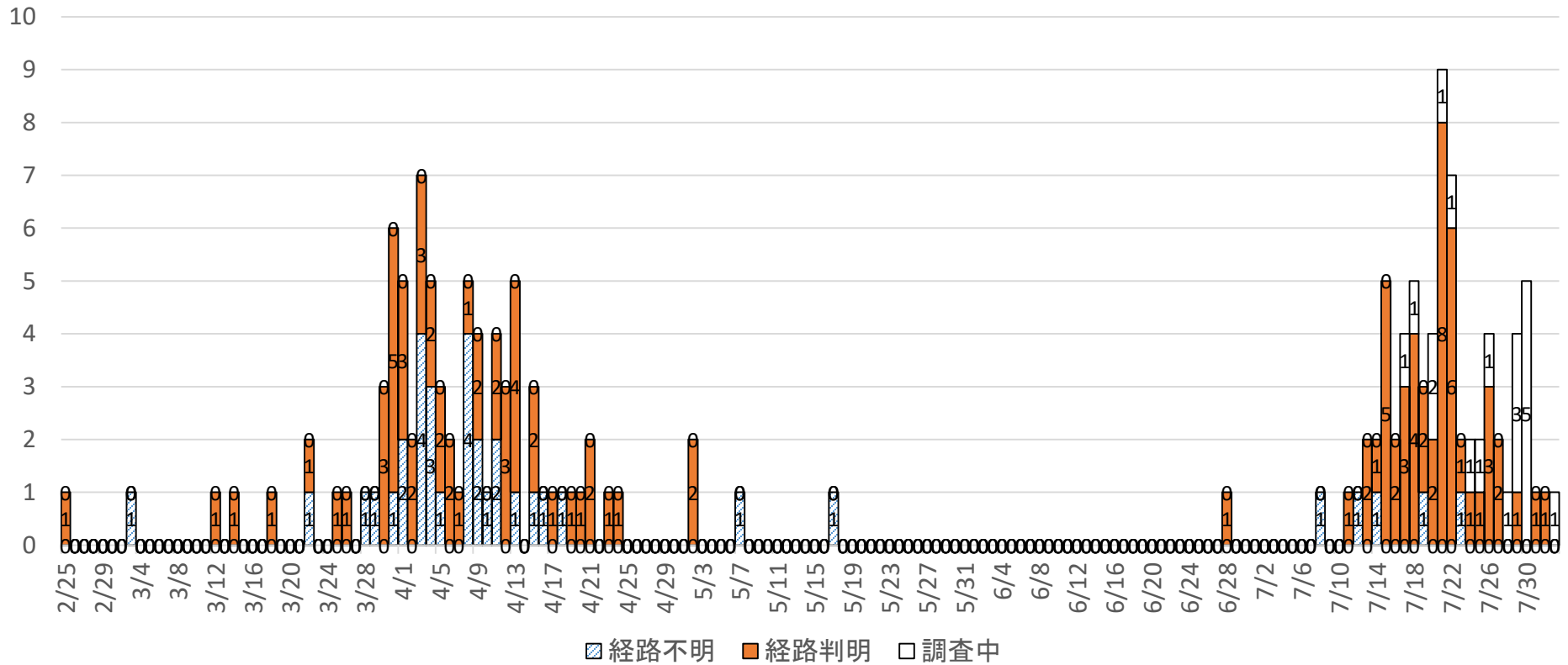
1) ① 流行曲線（公表日別）

新型コロナウイルス感染の流行曲線(公表日別)
(N = 202) 8/3 20:00現在



1) ②流行曲線（発症日別）（8月2日現在）

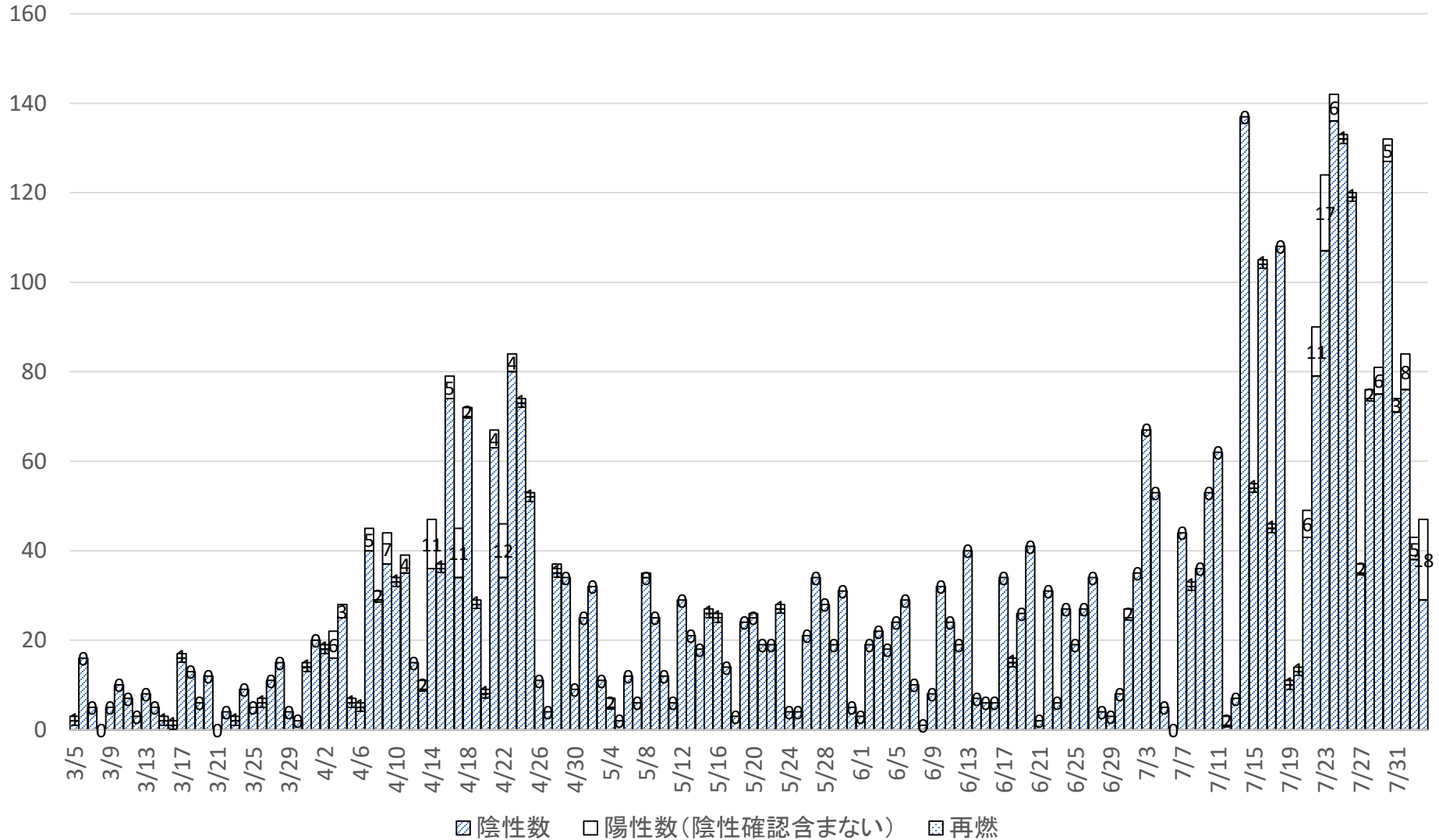
新型コロナウイルス感染症の流行曲線（発症日別）
 (N = 149人 無症状者は除く) 8/2 20:00現在



- 6月下旬から症状のある患者の発生が続いています。
- 8月3日公表分については発症日を調査中のため8月2日現在としています。

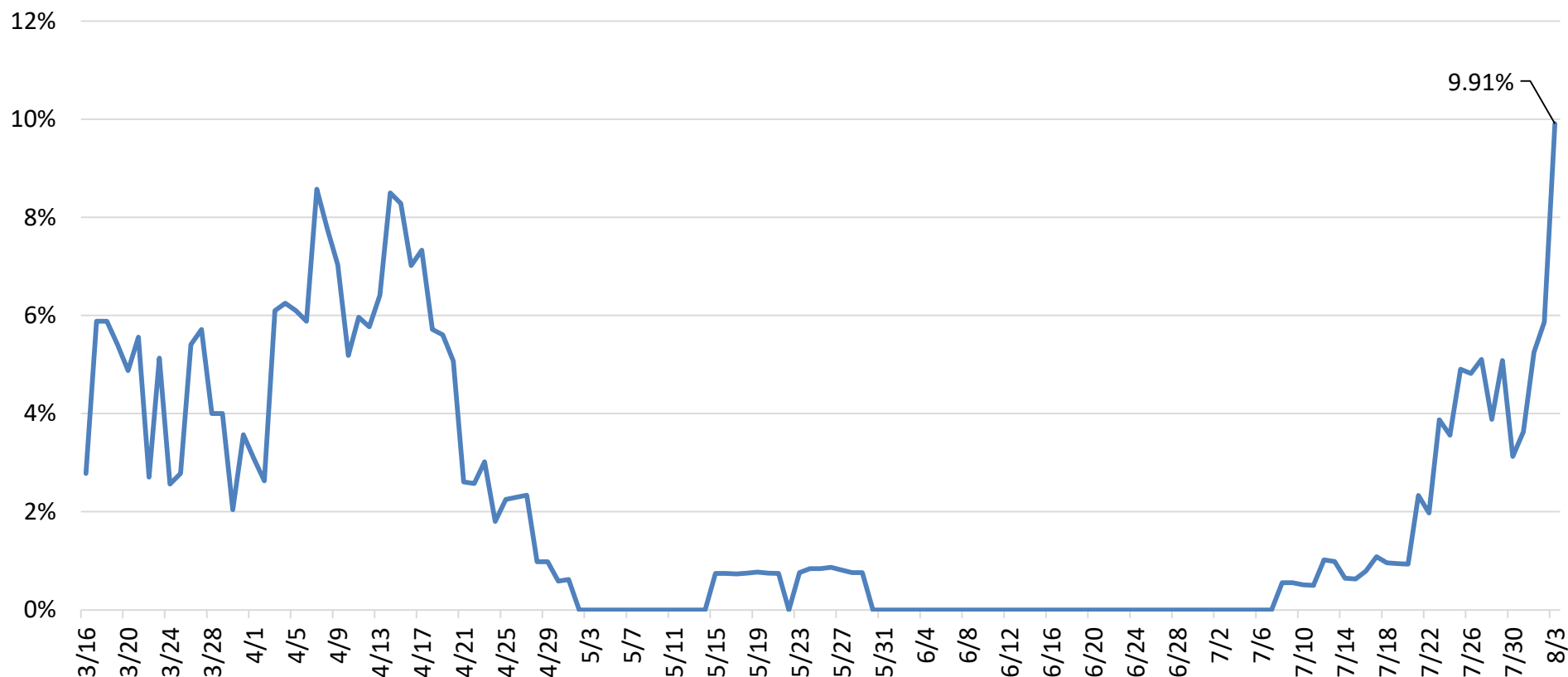
2) PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

PCR検査等の陰性と陽性者数(判定日ベース:日報)(8/3 20:00現在) * 陰性確認を除く



3) 陽性率 (7日間移動平均)

陰性確認と濃厚接触者を除くPCR検査等陽性率(7日間移動平均)
8/3 現在

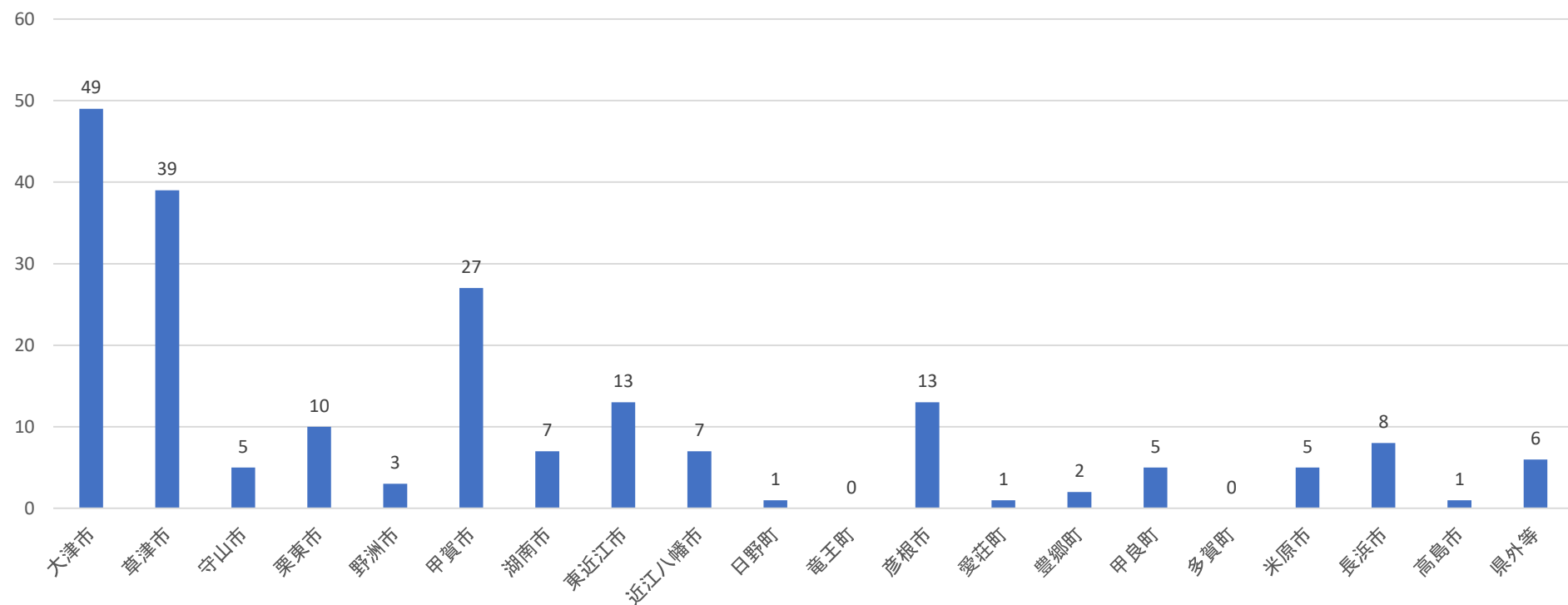


- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、8月3日現在の陽性率は9.91%でした。

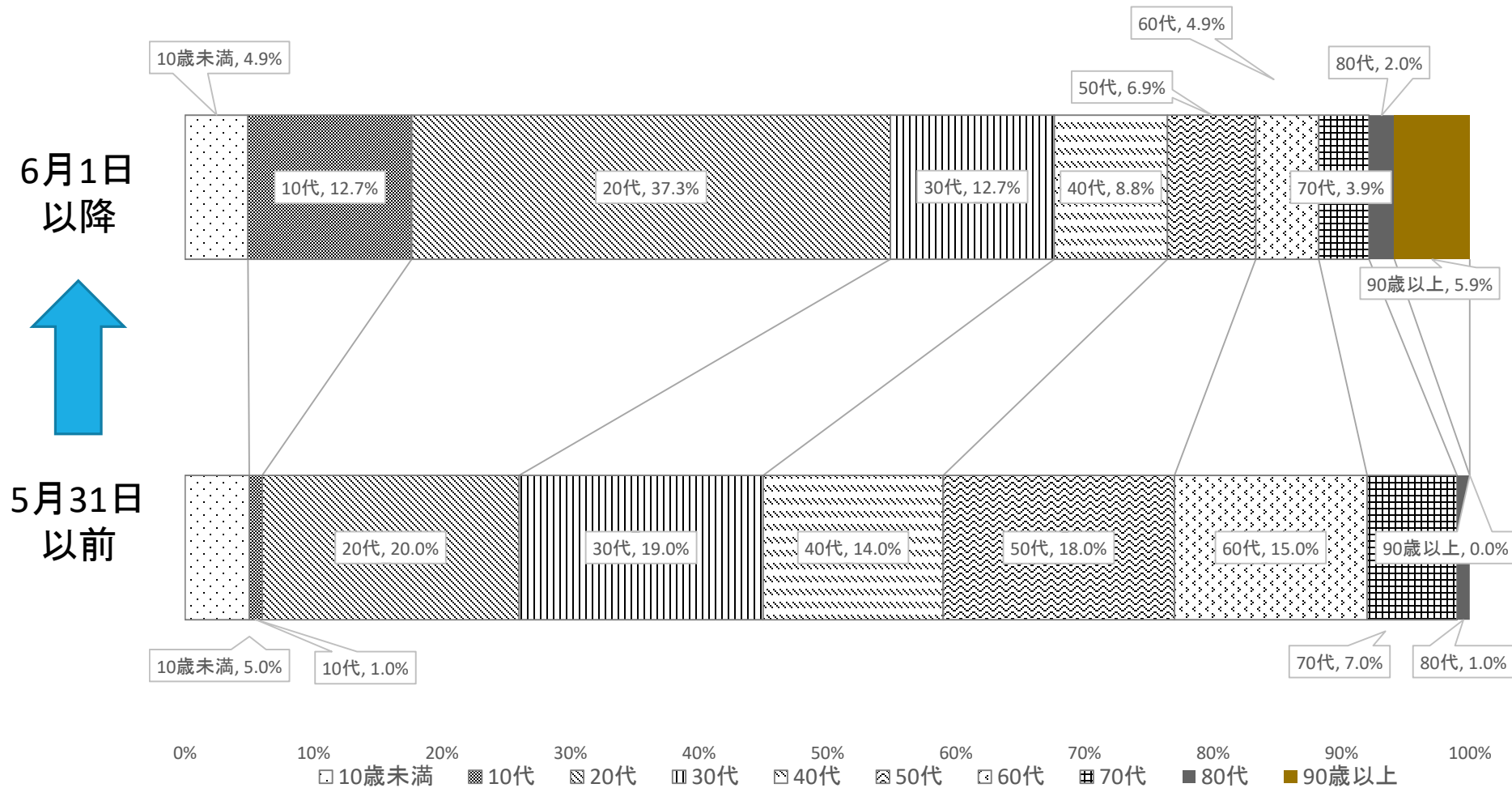
3) 性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	103
女性	89
非公表(10歳未満)	10
計	202

4) 市町別陽性者数

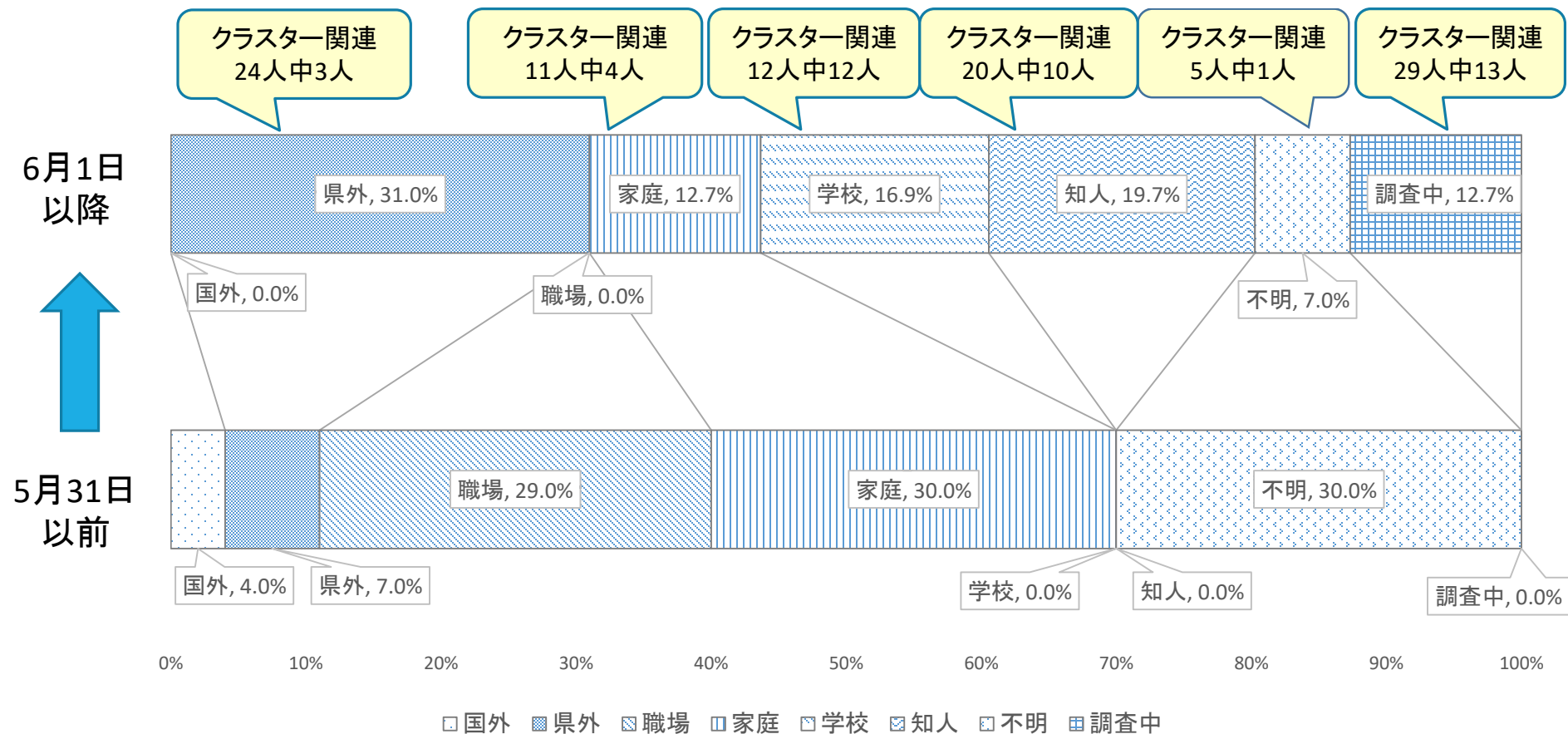


5) 年代別陽性者率



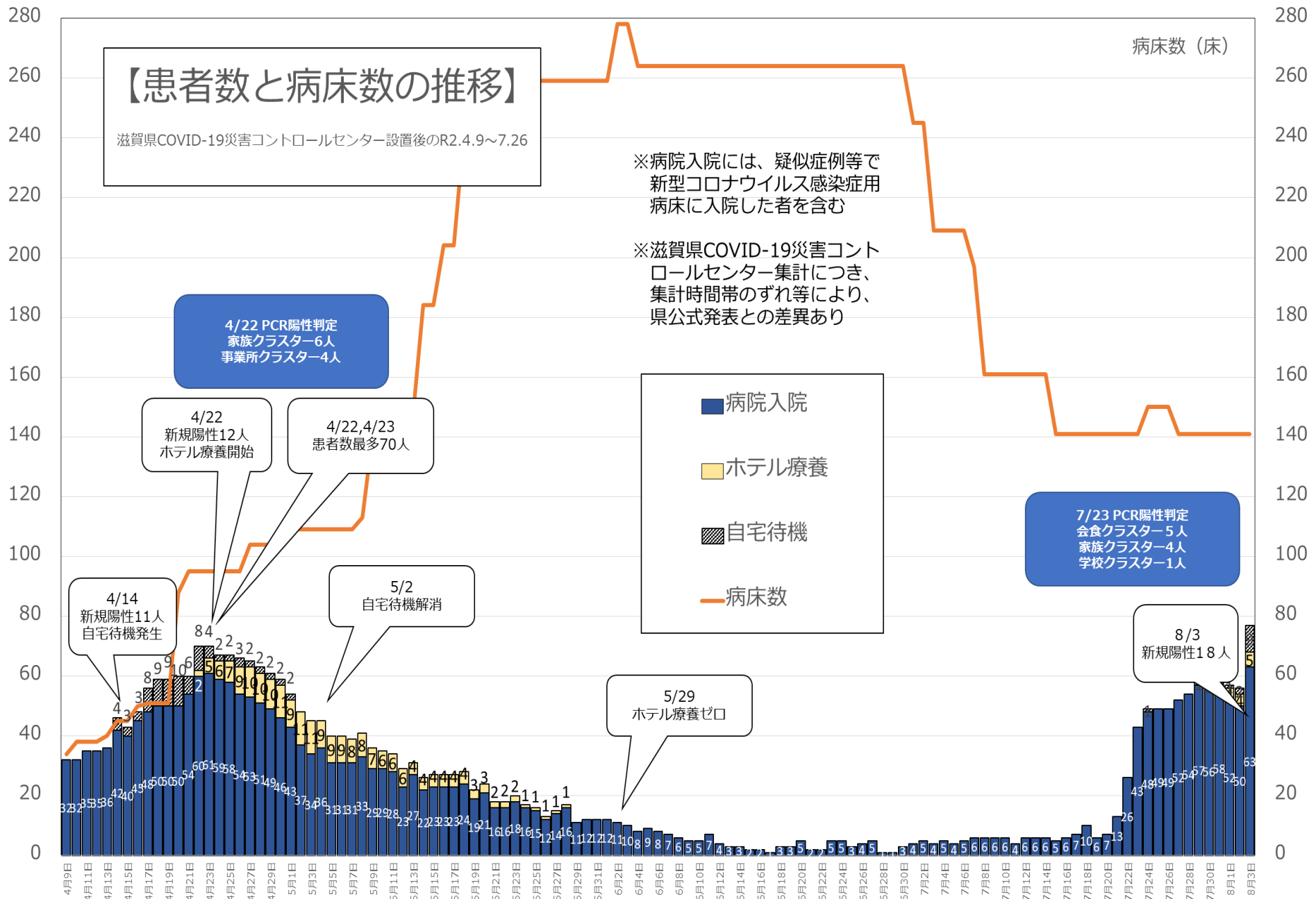
- 6月1日以降では、30代までで全体の約68%を占めている。

6) 感染経路別陽性者率

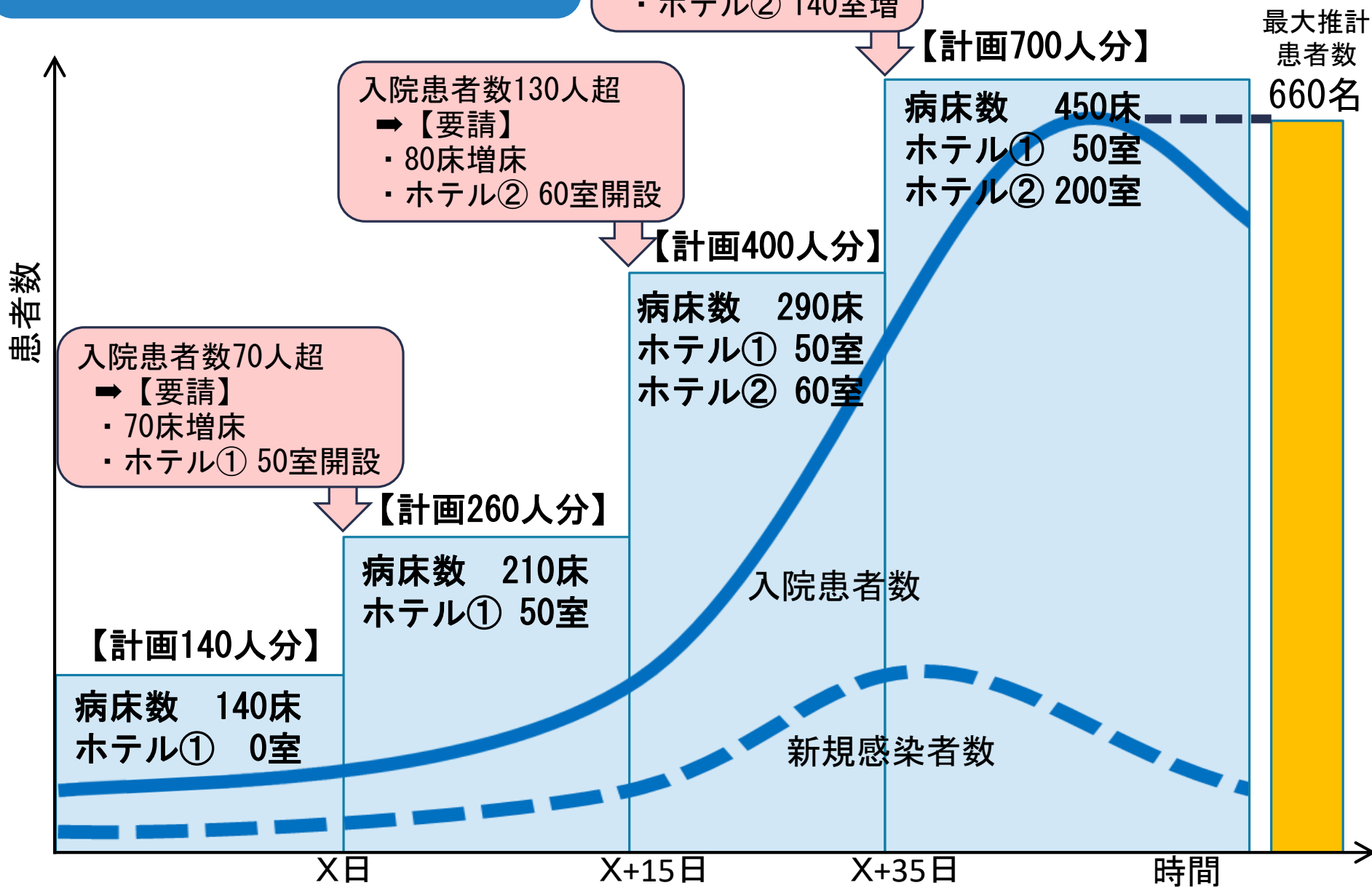


	国外	県外	職場	家庭	学校	知人	不明	調査中	計
6月以降	0	24	1	11	12	20	5	29	102
5月以前	4	7	29	30	0	0	30	0	100
計	4	31	30	41	12	20	35	29	202

入院医療体制について



病床・宿泊療養施設 確保タイミングと計画体制



資機材の確保・供給について

■ 主な医療用資機材の配布・備蓄等状況（8月3日現在）

	サージカル マスク (枚)	N95マスク (枚)	防護服 (枚)	ガウン (枚)	フェイス シールド (枚)	手袋 (枚)	手指消毒用 アルコール (ℓ)
備蓄目標（※） （①＋②）	630,000	16,000	5,000	111,000	22,000	4,015,000	4,080
①医療機関用	600,000	15,000	4,000	100,000	20,000	4,000,000	4,000
②宿泊施設等用	30,000	1,000	1,000	11,000	2,000	15,000	80
在庫量 （③－④）	310,000	28,000	16,000	80,000	17,000	89,000	230
③調達量	2,409,000	98,000	22,000	242,000	94,000	656,000	1,140
④配布量	2,099,000	70,000	6,000	162,000	77,000	567,000	910
備蓄達成率	49.2%	175.0%	320.0%	72.1%	77.3%	2.2%	5.6%

※WEB調査に基づき、医療機関への配布必要量(2か月分)を算出

(今後1週間あたりの想定消費量－先週1週間の物資の購入量)の4週平均値×4×2月



クラスターの発生状況に係る分析

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、7月に発生した2つのクラスターについて、次のとおり、発生の経過や課題等を分析しました。

①学校(寮)クラスター

感染者数 本県確認15人 県外確認2人 計17人

判明日 7月21日～7月24日

②会食クラスター

感染者数 本県確認10人

判明日 7月20日～7月25日

【7月30日現在】

この分析は、感染拡大防止を図るための課題等を、県民の皆さんと広く共有し、今後の取組につなげるために行うものであり、特定の個人や団体等について評価や指導等を行うためのものではありません。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染しうる感染症であり、また、誰もが気付かないうちに感染させてしまう可能性のある感染症です。関係する個人や団体等への偏見や誹謗中傷が生じないよう、ご理解をお願いしますとともに、当資料の適切なお取り扱いをお願いします。

1. 学校(寮)クラスター

感染対策の状況 (学校・寮生活)

- 感染者の広がりが見られる大都市の「夜の街」において一部の学生が感染し、寮生活等を通して、学生間でのクラスターの発生につながったと考えられる。
- 学校から学生に向けては、手洗いの徹底、マスクの着用等の指導が行われていたが、若者に対して実効ある指導にはなっていなかった可能性がある。
- 学生の行動について、集団行動するときには、個人のときと比べてマスクの着用を徹底できていないなど、感染予防に緩みがあった可能性がある。
- 部活動について、従前より、多少の発熱等の症状があっても休まないという風潮があり、国内で新型コロナウイルスの感染が広がる中でも、その状況は概ね続いていた可能性がある。

学校関係の方には、

- 学生の行動変容につながるよう、感染症への意識の向上を図る必要があり、若者に訴求する指導が求められる。
- 集団行動時に緩みがちになる若者の行動の傾向を踏まえ、必要な注意喚起を行う必要がある。
- 体調不良や風邪等の症状があるときには、部活動は休ませることを徹底するとともに、寮生活や学校外の活動においても感染防止に十分に注意を払うよう指導する必要がある。

学生(寮生)には、

- 新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があり、また、気付かないうちに、重症化しやすい方も含む、他人に感染させてしまう可能性のある感染症ということを認識する必要がある。
- 集団生活の場である寮や寄宿舎などでは、集団感染に広がるリスクを最小に抑えるよう、手洗いや個室以外でのマスクの着用等、感染予防のための取組が求められる。
- 体調不良や風邪等の症状があるときには、部活動は休むとともに、寮ではできる限り個室で過ごすなど、感染防止に十分な注意が必要である。

2. 会食クラスター

感染対策の状況 (会食会場)

- 会場を運営する事業者は、業界団体が定めるガイドラインを把握しており、主催者とも共有しガイドラインに沿った内容となるよう努めたが、結果的に人と人との間隔が十分に確保されていないなど、一部対策が取れていない事実が確認された。

感染対策の状況 (2次会会場)

- 店舗を運営する事業者は、一定の衛生管理は実施していたものの、感染防止のためのガイドラインについては、把握していなかった。
- 設備面の制約もあり、十分な換気を行うことが困難であるなか、座席数およびテーブルの配置についても通常どおりで営業しており、店舗全体として満席の状態であった。
- 2次会参加者についても予約人数以上の参加であったことから、1テーブルあたりの人数も多く、いわゆる「三密」の状態にあった。

施設・事業所には、

- 事業者において従業員等も含め、感染対策への知識と意識の向上を図る必要がある。
- 事業者自らガイドラインに沿った対策を遵守するとともに、利用者にも理解と協力を得るよう、一層の努力が必要。
- 設備の改修等すぐには解決困難な課題もあるなか、入店者数や座席数の制限、ドアの開放による換気など、取り組むことのできる対策を取ることが重要である。

施設利用者には、

- 感染予防意識の向上が必要。食事中以外のマスク着用など、自らの感染予防も徹底した上での利用が求められる。
- 感染予防策がとられているか確認したうえで利用する店舗等を選定することが重要。
- 会食内での余興等を企画するうえで、感染防止を重視した内容にするなどの工夫が求められる。

3. クラスターの発生状況から得た課題

事業者等に求められる課題

- 施設やイベントの運営において、感染防止のための業種別ガイドラインを遵守するとともに、利用者にも協力を求める必要がある。
- 感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」を導入し、「感染予防対策宣言書」を掲示する。

個人に求められる課題

- 新型コロナウイルス感染症について関心を持つとともに、手洗いやマスクの着用を徹底する。
- 感染者が多数確認されている大都市等への外出は、慎重に検討する必要がある。
- 利用する店舗や施設の選定にあたっては、感染予防策がとられているか確認する。
- 感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」や接触確認アプリ「COCOA」を利用する。